

見るからに涼しげ。白い縦縞の斑。

< 植物名 >

ミスカンツス
ススキ 'シマススキ'

水やり

湿気を好む方なので、土が乾いたら適度に水やりをする。

置き場所

耐暑性、耐湿性があり日向を好む。水辺緑化の素材にも最適。

用土肥料

特記事項なし。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

特記事項なし。

使い方 庭植え、鉢植え、生け花

学名 Miscanthus sinensis(eulalia) 'Variegatu

英名

属名 ススキ

科名 イネ

性状(分類) 多年草(観葉植物)

原産地 東アジア

花の色

開花期 8月～10月

購入時期

草丈 100～200 cm

ID 334

季節 夏 秋

JFコード 19087



冬越しと置き場所

耐暑性 耐湿性があり、日向を好む。庭に植えたり鉢物としても出回るが、生花の花材などとして扱われることも多い。

その他の解説

いくつかの変異や園芸品種があり、縞薄(シマススキ)は葉に白い縦縞の斑が入る品種で、見るからに涼しげな雰囲気。

特徴1

古くからなじみの深い植物。どちらかと言うと湿気を好む方なので、土が乾いたら適度に水やりをする。

特徴2

ススキはイネ科の大型の多年草で、葉は細長く茎とともに硬質で、葉の縁には鋭い鋸歯がある。花穂は10～20本に分かれ、白い毛に覆われてのぎのある小さな穂が密生する。日本では山野のいたる所に生え自然の中では大群生する。秋の七草の一つでもあり、古くからなじみの深い植物。花穂の形から尾花とも呼ばれる。水辺緑化の素材にも最適。